

航跡

たくみ
船匠たちから次代への伝言

目次

戦後復興期

- 船舶輸出の黎明期 —ある営業マンの回想— 花房 博 1
- 生産設計ことはじめ 高武 淳夫 10
- 船型試験水槽の思い出 潜水船研究の追憶から 田中 拓 19
- 水槽試験の変遷 岡本 洋 27
- 佐野安のおやっさん 佐野川谷安太郎翁 三宮 一泰 32
- 川筋の造船屋 名村源之助翁の足跡 杉山 和雄 37
- 現場一筋 藤永田の高岡卓郎 布施 秀三 41
- 船主と造船所間の永遠の協力を 山名 俊茂 44

苦闘期

- ロンドン事務所駐在記 谷 道夫, 藤田 實 55
- 大阪川筋造船所での進水 道浦 忠輝 65
- 三井千葉設計の誕生から超自動化船の設計まで 宮脇 直樹 73
- 新工場管理よもやま話 大野 道夫 79
- 造船黄金期の造船所建設と稼動 大野 伊左男 91
- ルール検討委員会の歩み 服部 陽一 101
- 関西船舶流力研究会 (KFR) 32年 姫野 洋司 107
- 造船設計便覧 —協会の歴史を飾る出版— 田中 一朗, 浜野 和夫, 片山 信, 中村 一郎, 塙 友雄, 小野 正, 吉川 長一郎 114
- 川筋四社協議会 中野 毅, 山川 正彦 122
- メインエンジンに関すること 松浦 昇 129
- ちりもつもれば —戦後の造船現場技師たちの記録— 小沢 尚介 137
- モナコ語録 間野 正己 147
- ウィーン水槽苦闘記 松浦 一 156
- 船殻工作—現図、誤作、精度のことなど— 藤野 宏 161
- 造船小史 末長 一志 171
- 船の大型化と共に 榎本 圭助 180

発展期

- 自動車専用船 (PCC) の開発について 亀谷 日出彦 190
- 日本初の新造客船誕生に寄せて 小林 幹弘 198
- ケミカル・液化ガス運搬船の揺籃期 岡本 富保, 桂 豊 208
- 改造船工事を成功に導いたもの 藤村 洋, 納谷 徹, 南波 壯八 219
- コンテナ船建造に関わって 小林 幹弘 233
- 高速艇開発の思い出 加納 正義 243
- 始まりはボート屋さん 木原 和之 248
- 海洋基本設計の体験談 杵中 勝 256
- 海洋構造物、未知との遭遇 岸本 昌法 262
- 船舶機関部の推進システムの回顧と展望 島本 幸次郎 268
- 思い出すままに —コンピュータの40年— 川口 博 278
- CAD/CAM開発に捧ぐ 守屋 洋之助 286
- ある船級検査員の体験記 野口 三郎 297
- ISO/TC8 (船舶および海洋技術) のことをふりかえる 田口 賢士 304
- アメリカの大学で研究と講義を続けて40年 江田 治三 317

反省期

- 日本造船業の盛衰と今後 南崎 邦夫 324
- 造船業 やり残してきた課題 石原 康世 332
- 大学における技術者教育私論 野本 謙作, 金 士洙 339
- 若者よ海に向かってはばたけ 宮崎 晃 346

